

『国際問題』 ウェビナーの御案内

「米国主導の国際秩序変容と地経学」を論じる

2024年7月の『国際問題』ウェビナーでは、「米国主導の国際秩序変容と地経学」をテーマとする『国際問題』誌2024年6月号の著者が、それぞれの考察を踏まえて、執筆時以降の最新の動きや他の執筆者の分析との関連を含めて議論し、特集テーマをさらに深く掘り下げます。同号の概要は以下のとおりです。

グローバリゼーションはGVCの長大化や複雑化、資本移動の膨張、人の移動の拡大などを推し進めたが、これらの変化は地政学リスクをどう変え、現在の地経学を形成しているのか。また、エネルギーや水といった資源確保が伝統的な地政学リスクを維持する一方、気候変動やこれに対応しようとする脱炭素化も新たな地経学形成要因となりつつある。両者の関係をどう捉えるのか。先端科学技術をめぐる米中覇権争いは国際秩序にどのような変化をもたらしているか。GVCの再編はどうコストとの兼ね合いでなされようとしているのか。「地理的近接性」だけでなく「制度的近似性」を重視する地経学がインド太平洋地域にどのような変化をもたらすのか。以上のような背景に鑑み、本特集では近年、顕在化してきた地経学の構成要素を分解・多角的に検討し、国際秩序再編への示唆を模索することとしたい。

1. 日時： 2024年7月31日（水）14:00-15:15

2. 申込登録： 参加をご希望の方は下記のURLよりお申し込みください。（視聴無料）

https://us06web.zoom.us/webinar/register/8717183304211/WN_tLykfsqvSSetzhV34Pheg

3. 登壇者：

INTERNATIONAL AFFAIRS
国際問題
Webinar

『国際問題』 ウェビナー

「米国主導の国際秩序変容と地経学」を論じる
2024年7月31日（水）14:00～15:15



鈴木一人
東京大学教授
地経学研究所所長 モデレーター
巻頭エッセイ：
ルールに基づく国際秩序の動揺と
地経学の台頭



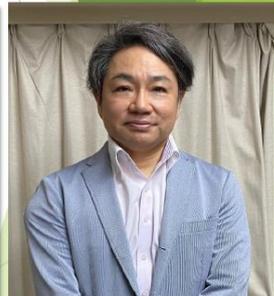
山下ゆかり
日本エネルギー経済研究所
常務理事
気候安全保障の時代



角南篤
笹川平和財団理事長、政策研究大
学院大学院学長特命補佐・客員教授
先端科学技術をめぐる米中覇権
争いと新たな国際秩序の形成



富浦英一
経済産業研究所所長、
大妻女子大学教授
米中新冷戦に向かう世界貿易
とGVCの組み替え



寺田貴
同志社大学教授
インド太平洋地経学：
ソフトとハード、近接性と近似性の
2つの視点から読み解く

◎本ウェビナーは『国際問題』2024年6月号執筆者にご登壇いただきます。左よりご登壇順。

4. 言語： 日本語

5. お問い合わせ： km-webinar@jia.or.jp 担当助手：西村